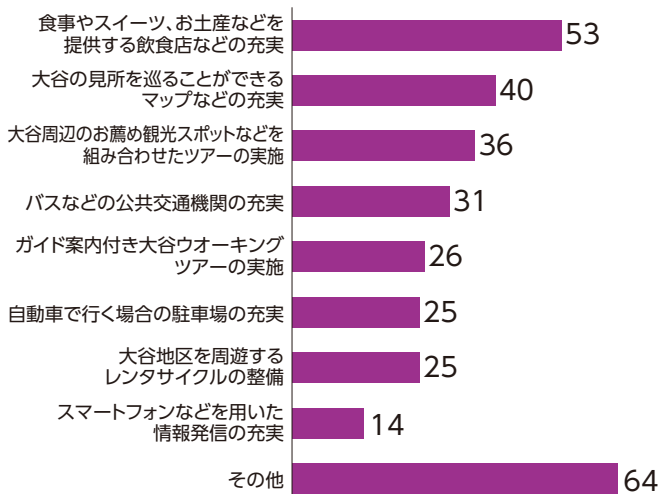




前回の広報うつのみやプラス「大谷」に対して76人の市民の皆さんから意見をいただきました。代表的なものを紹介します。

(1)どのような取り組みがあると「大谷に行ってみたい」と思いますか。(複数回答可)



■その他の主な意見

- ▽大谷周辺の観光スポットに「道の駅うつのみやろまんちっく村」を入れ、そこに「湯処あぐり」も入れる(旭2丁目・70代)。
- ▽もっと大谷の魅力を高める景観づくりと、そこまで行けるような導き方をPRする(下栗町・40代)。
- ▽地元の人を楽しめるイベントを定期的に関き、根付かせる(西刑部町・30代)。

(2)大谷に多くの観光客が来るために必要なことは何だと思いますか。

- 歴史や文化の話ができるドライバーがいる観光タクシーを駅前に設け、大谷には、コースター・ペン皿・壁掛けのような物を作る体験コーナーを設ける(上戸祭4丁目・60代)。
- 大谷石を使ったものづくり体験教室の充実(上戸祭2丁目・70代)。
- 映画撮影の誘致など、全国のメディアを使って観光スポットとしての知名度を高くする(豊郷台2丁目・30代)。
- 大谷石の採掘跡は観光名所になり得るので、観光面での整備と、東京と本県周辺へのPRの実施(旭2丁目・70代)。
- 地元の人のおもてなしの心。旅行会社にツアーを組み込んでもらう(瑞穂1丁目・60代)。
- 大谷観音・景観公園・大谷寺といった中心スポット近辺に、若者に受ける喫茶店(カフェ)・レストランなどの飲食店があると良い。森林公園とタイアップして、サイクリングの人たちの休憩ポイントとして、アピールする(鶴田1丁目・60代)。
- 周辺の環境整備と周辺の野菜やフルーツを使ったおいしい食べ物を提供するレストランやカフェ・販売所の誘致や、石を素材にしたモダンな工房の誘致(清住2丁目・60代)。

前回の広報うつのみやプラス「再発見 大谷の魅力」の概要



大谷石のある暮らし

大谷石は、家の塀や倉庫の建材として使われていたり、休憩場所の腰掛けとして使われたりしているなど、私たちの生活の中に、さまざまな形で溶け込み、親しまれています。

石のまち大谷

大谷地区は、地下採掘場跡がある大谷資料館・平和観音・大谷景観公園など多くのスポットがあり、自然の中に歴史や文化を感じられる日本有数の景勝地です。

これからの大谷へ

大谷石の加工技術や職人としての思いなどを次の世代に伝えていくことや、地元の人たちが大谷のすばらしさに誇りを持ち、訪れた人たちに対するおもてなしの気持ちが、これからの大谷の発展に必要ではないでしょうか。

広報うつのみやプラスや政策特集は、皆さんと一緒に考えていただきたいテーマを取り上げ、年4回編集します。



料金受取人払郵便



差出有効期間
平成28年8月
15日まで
【切手不要】

3 2 0 8 7 4 0

(受取人)
宇都宮市旭1丁目1番5号

(宇都宮市役所)
宇都宮市総合政策部広報広聴課

行



3 2 0 8 7 4 0

3

氏名	住所	
年齢	歳	職業

差し支えがなければ記入してください。広報紙で意見を紹介する際には、氏名の記載はしません。なお、はがきの情報については、目的以外には使用しません。